



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 コメ兵  
コード番号 2780 URL <http://www.komehyo.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 司郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 鳥田 一利

TEL 052-249-5366

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,134	—	497	—	490	—	277	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 273百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	25.29	—
24年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第2四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	19,826	12,567	63.4	1,147.04
24年3月期	18,912	12,381	65.5	1,130.04

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,567百万円 24年3月期 12,381百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,287	11.7	1,592	16.4	1,582	15.6	913	20.0	83.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	11,257,000 株	24年3月期	11,257,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	300,369 株	24年3月期	300,369 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	10,956,631 株	24年3月期2Q	— 株
----------	--------------	----------	-----

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興特需等を背景に回復の兆しが見られるものの、欧州の財政金融不安や新興国経済の停滞等に伴う海外経済の減速、デフレの長期化や厳しい雇用環境が継続していること等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

リユース業界におきましては、引き続き消費者の低価格志向が高いこと、及び、循環型社会への移行により業界全体が注目を浴び、生活用品・低額品の需要が堅調に推移したことに加え、個人消費の緩やかな回復に伴い、高額品や嗜好品は徐々に持ち直しの動きが見られました。また、インターネットによる中古品売買の普及・拡大が続いていることに加え、一部では他業界との提携や資本受入等の動きも見られる等、様々な要因により買取・販売競争は激化の一途を辿っております。

このような環境の下、当社グループは、組織力の強化、販売力の強化、販促活動の拡充、オンラインストアの強化、内部統制の推進、教育制度の充実等、様々な経営施策に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。また、出店戦略に基づき、関東地区の販売及び買取強化を目的として平成24年7月に「コメ兵大宮東口店」（さいたま市大宮区）と「買取センター原宿」（東京都渋谷区）を、関西地区の販売及び買取強化を目的として平成24年8月に「コメ兵ホワイトィうめだ店」（大阪市北区）を、中古衣料品の販売強化を目的として「USED MARKET by KOMEHYO長野店」（長野県長野市）と「LINK SMILE by KOMEHYOイオンモール名古屋みなと店」（名古屋港区）をそれぞれオープンいたしました。また、既存店強化のため、名古屋本店・きもの館をリニューアルオープンいたしました。

平成24年9月には「株式会社KOMEHYOオークション」が運営する中古品取扱業者向けオークション「レストランオークション名古屋 by KOMEHYO」を開催いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は15,134百万円、営業利益は497百万円、経常利益は490百万円、四半期純利益は277百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業は、株式会社コメ兵と株式会社KOMEHYOオークションの2社からなり、「コメ兵大宮東口店」、「コメ兵ホワイトィうめだ店」、「買取センター原宿」、「LINK SMILE by KOMEHYOイオンモール名古屋みなと店」、「USED MARKET by KOMEHYO長野店」をオープンした結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、「ブランドリユースショップ」9店舗、「買取センター」4店舗、「LINK SMILE」6店舗、及び「USED MARKET」2店舗となりました。

中古品仕入高につきましては、TVCM等による積極的な買取促進や適正な買取価格の設定等により、個人買取が概ね順調に推移したものの、前年同期の地金相場高騰に伴う宝石・貴金属の買取好調の反動もあり、個人買取仕入高は6,326百万円となりました。

売上高につきましては、創業65周年にちなんだ販促活動の効果に加え、新規出店や売場改装に伴いマスメディアへの露出が増加したこと、及び、商品センターの稼働に伴い商品供給体制が確立したことによる売場商品の魅力度向上等により好調に推移いたしました。

利益面につきましては、積極的な販促活動に伴う広告宣伝費の増加に加え、店舗出店準備等に伴う人件費の増加等の影響により、販売費及び一般管理費が増加したものの、適正な買取及び販売価格の設定、中古品の売上高構成比率の向上に引き続き注力したこと等により、売上総利益を確保できたことから、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は13,598百万円、営業利益は448百万円となりました。

#### ② タイヤ・ホイール事業

タイヤ・ホイール事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、12店舗であります。

売上高につきましては、大型サイズのタイヤ及びアルミホイールが苦戦したものの、買取及び下取りの強化に伴い中古品商材が充実したこと等により、中古品のタイヤ及びアルミホイールが好調に推移いたしました。

利益面につきましては、オンラインストアのリニューアル準備等に伴う人件費の増加等の影響により、販売費及び一般管理費が増加したものの、中古品の売上高が好調に推移したことにより売上総利益を確保できたこと等から、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は1,514百万円、営業利益は33百万円となりました。

### ③ その他の事業

当第2四半期連結会計期間末の当社所有の不動産賃貸物件は3カ所であります。

当第2四半期連結累計期間の当セグメント売上高は21百万円、営業利益は15百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は12,911百万円となり、前連結会計年度末に比べ673百万円増加いたしました。これは主にたな卸資産が653百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は6,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、19,826百万円となり、前連結会計年度末に比べ913百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,791百万円となり、前連結会計年度末に比べ907百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,200百万円増加し、未払法人税等が311百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,467百万円となり、前事業年度末に比べ180百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が175百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7,258百万円となり、前連結会計年度に比べ727百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は12,567百万円となり、四半期純利益の確保等により前連結会計年度末に比べ186百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は63.4%（前連結会計年度末は65.5%）となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,200百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、652百万円の資金支出となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額653百万円及び売上債権の増加額111百万円が税金等調整前四半期純利益455百万円を超過したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、425百万円の資金支出となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出382百万円及び差入保証金の差入による支出43百万円を計上したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、955百万円の資金収入となりました。

これは主に、短期借入金の純増額1,200百万円及び長期借入れによる収入350百万円が長期借入金の返済による支出465百万円及び配当金の支払額87百万円を超過したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月30日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、第2四半期連結累計期間において、計画に基づく新規出店を含め、店頭小売りによる売上高が堅調に推移したことに加え、中古品の売上高比率が向上したことに伴い、売上高総利益率が向上したこと等により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は当初予想した数値（平成24年5月14日発表）を上回る結果となりました。

通期の業績につきましては、出店計画の進捗及び冬場の天候といった要因により売上高が増減すること等を踏まえ、当初の予想を据え置くことといたしました。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用については、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

これは当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図り、四半期決算における迅速性に対応するためであります。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,905,155	1,748,692
売掛金	1,180,303	1,291,441
たな卸資産	7,984,960	8,638,788
その他	1,167,977	1,232,699
流動資産合計	12,238,397	12,911,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,467,128	2,499,432
土地	1,472,871	1,472,871
建設仮勘定	—	125,313
その他(純額)	462,556	497,597
有形固定資産合計	4,402,557	4,595,215
無形固定資産	399,220	439,407
投資その他の資産	1,872,586	1,879,977
固定資産合計	6,674,364	6,914,600
資産合計	18,912,761	19,826,222
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	595,348	—
買掛金	—	498,719
短期借入金	750,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	924,684	985,087
未払法人税等	499,168	188,107
賞与引当金	283,123	325,941
役員賞与引当金	11,440	6,045
商品保証引当金	4,409	4,546
ポイント引当金	24,539	31,058
資産除去債務	11,536	—
その他	779,514	801,923
流動負債合計	3,883,763	4,791,428
固定負債		
長期借入金	1,611,712	1,435,857
退職給付引当金	199,663	229,477
役員退職慰労引当金	436,995	433,530
商品保証引当金	2,098	1,994
ポイント引当金	21,079	16,471
資産除去債務	62,043	65,637
その他	313,948	284,080
固定負債合計	2,647,540	2,467,050
負債合計	6,531,304	7,258,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	8,742,875	8,932,332
自己株式	△80,066	△80,066
株主資本合計	12,376,460	12,565,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,996	1,825
その他の包括利益累計額合計	4,996	1,825
純資産合計	12,381,457	12,567,743
負債純資産合計	18,912,761	19,826,222



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成24年4月1日  
至平成24年9月30日)

売上高	15,134,148
売上原価	10,457,132
売上総利益	4,677,016
販売費及び一般管理費	4,179,247
営業利益	497,769
営業外収益	
受取利息	757
受取配当金	1,053
受取手数料	3,448
助成金収入	1,105
その他	760
営業外収益合計	7,124
営業外費用	
支払利息	13,881
その他	124
営業外費用合計	14,006
経常利益	490,887
特別利益	
役員退職慰労引当金戻入額	1,758
特別利益合計	1,758
特別損失	
固定資産除却損	37,263
特別損失合計	37,263
税金等調整前四半期純利益	455,382
法人税等	178,273
少数株主損益調整前四半期純利益	277,109
四半期純利益	277,109

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成24年4月1日  
至 平成24年9月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	277,109
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△3,170
その他の包括利益合計	△3,170
四半期包括利益	273,939
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	273,939

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成24年4月1日  
至 平成24年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	455,382
減価償却費	238,336
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42,818
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,395
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	29,813
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,464
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	33
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,912
受取利息及び受取配当金	△1,811
支払利息	13,881
有形及び無形固定資産除却損	21,277
売上債権の増減額 (△は増加)	△111,137
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△653,827
仕入債務の増減額 (△は減少)	△96,629
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△62,413
その他	△27,365
小計	△158,589
利息及び配当金の受取額	1,192
利息の支払額	△14,360
法人税等の支払額	△480,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	△652,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△382,934
差入保証金の差入による支出	△43,315
その他	410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,200,000
長期借入れによる収入	350,000
長期借入金の返済による支出	△465,452
リース債務の返済による支出	△41,664
配当金の支払額	△87,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	955,380
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△123,106
現金及び現金同等物の期首残高	2,323,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,200,276

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。